



夕刊

発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

紙づて

今年も、わが研究科専攻の研究室対抗新歓ソフトボール大会が開かれた。うちの研究室は、いたって真剣に試合に挑む。「ユニホームができました」。学生から「森研ロゴ」入りのTシャツを渡された。気合だけは誰にも負けませんと言わんばかりだ。

私自身、中学から大学までソフトボールをやっていたので、真剣さに輪をかけた。ちなみに「笑わない弁護士」北村晴勇さんは、大学ソフトボールサークルの先輩だ。守備位置や打順には明快な役割がある。メンバーのそれぞれが自分の役割を果たし、お互いを支えあう。つまり、チームワークが勝敗を決める。しよせん素人の試合では、試合の形勢が傾き始めた

ちえ 郁 森

チームワーク

らドミノ倒しのよつに止まらない。勝利には、崩れかけたチームを何度でも立て直すことが大切だ。

野球部の男子学生は、時速百三十キロの速球を打つ。ソフトボール大会ではボールが止まってみえるのか、全く打てずに足をひっぱる。ことだつてある。反対に、ソフトボール初心者の女子学生がアドバンス通りにバットを振って、絶妙な場所にポテンとボールを打ち返す。予想外の展開に大慌てする相手チームのエラーを誘って塁に出る。

決して仲間のミスを責めない。ピンチでも声をかけあって、最後まであきらめない。まるで研究のようだ。

ハラハラドキドキの逆転サヨナラで勝ち進み、森研は優勝した。MVPは全員。チームワークの勝利だった。

(名古屋大教授)

2011.6.24

2011.6.24 No.23